令和5年度 保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 体育 | 単位数 | 2 単位 | 年次 | 3年次 |
|-------|---------------|----|----|-----|------|----|-----|
| 使用教科書 | 現代高等保健体育(大修館) | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎的・基本的な運動技能や体力や筋力を高めましょう。
- ・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒 に味わいましょう。
- ・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関りを学び、自分にあった スポーツライフを考えてみましょう。

2 学習の到達目標

- ・心と体を一体としてとらえ、健康・安全に留意して運動する態度を育て、運動の合理的、計画的な実践を通して運動を習慣化する。
- ・生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活で活かせるよう、ライフステージと健康について知識や理解を深めるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上をはかり、適切に判断する能力を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 7 | | - 17 | | |
|-------|--|---|---|---|
| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断 | c:運動の技能 | d:知識・理解 |
| 制点の趣旨 | 自ら進んで運動の楽 しさいでででででででででする。 健康で学習に主体のに対している。 はまではいるでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は | 知識につながに につながでした。 自己にないできる。 にでものできる。 で得力をがある。 にできる。 にないではないできる。 にないでもないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないできる。 にないでないできる。 にないでないでないでないでないでないでないでないでないでないでないでないでないでな | 記録や技能向上に挑戦する。 運動の合理をはなり、実践をになり、大きのではでは、 を通じでででででででででででででででででででででででででででででででででででで | 運動の技術の名称 や行い方、体力のの方 め方、課題解表の行う 法、練習やツを全の 法、スポーツを全の 保の具体的なる。 スポーツの歴史、 、 、 、 の関わり方に との関わり方に との関わり方に |
| | つける。 | 字首で特に成果を自 ら応用・発展させ、実 生活に活かせる。 | (合性日を栄しむ。 | いて理解している。 |
| 評価方法 | 受講態度の観察 ノート レポート等 | ノート レポート等 | 技能観察ノート等 | ノート レポート テスト等 |

※令和3年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学 | 単 | 学習内容 | | 主な評価の観点 | | 点 | | |
|-------|-----|---|---|---------|--------|---|---|-----------------------------------|
| 期 | 単元名 | | | b | С | d | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
| 期 1学期 | | 字省内谷 ゴール型 バスケットボール(男子) ネット型 バレーボール(女子) テニス(男子) ベースボール型 ソフトボール(女子) | a | b | с О | d | 車元(題材)の評価規準 a:球技の楽しさや喜びを味わっことができるよう、フェアプレイを切にしようとすること、作戦などについての話しようとは真常安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 b:生涯にするための自己の課題にたましている。 c:勝敗を大戦や状況に応動を味わい、作戦や状況に応動を下れたもり楽したのがある。 c:勝敗を味わい、作戦や状況に応動を味わい、作戦や状況に応動を表している。 | 評価 受講態度の 観察 レポート 技能観察 |
| | | | | | | | d:技術や技の名称や行い方、体 力の高め方、運動観察の方法 を理解している。 | |

※令和3年度以前入学生用

| マッカー (男子) マッカー (男子) マッカー (男子) マッカー (男子) マッカー (男子) マッカー (男子・女子) マット型 バドミントン (男子・女子) テニス (女子) マニス (女子) スット型 スット型 スット型 スットでの話し合いに貢献しようとすること、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。 | うことができるよう、フェア 観察 プレイを大切にしようとす レポート ること、自己の責任を果たそ 技能観察 うとすること、作戦などにつ いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を |
|--|---|
| ディット型 ネット型 スペート 大統領祭 大統領祭 スペート 大統領祭 スペート 大統領祭 大統領祭 スペート 大統領祭 大統領祭 大統領祭 スペート 大統領祭 大統領祭 スペート スペート 大統領祭 スペート | プレイを大切にしようとす レポート ること、自己の責任を果たそ 技能観察 うとすること、作戦などにつ いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を |
| テニス(女子) いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を 確保して、自主的に取り組も うとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊か に実践するための自己の課 題に応じた運動の取り組み 方を工夫している。 c: 勝敗を競う楽しさや喜びを | ること、自己の責任を果たそ 技能観察 うとすること、作戦などにつ いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を |
| テニス(女子) いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を 確保して、自主的に取り組も うとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊か に実践するための自己の課 題に応じた運動の取り組み 方を工夫している。 c: 勝敗を競う楽しさや喜びを | うとすること、作戦などにつ いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を |
| テニス(女子) いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を 確保して、自主的に取り組も うとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊か に実践するための自己の課 題に応じた運動の取り組み 方を工夫している。 c: 勝敗を競う楽しさや喜びを | いての話し合いに貢献しよ うとすること、健康や安全を |
| うとすること、健康や安全を 確保して、自主的に取り組も うとしている。 b:生涯にわたって球技を豊か に実践するための自己の課 題に応じた運動の取り組み 方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを | うとすること、健康や安全を |
| 確保して、自主的に取り組も うとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊か に実践するための自己の課 題に応じた運動の取り組み 方を工夫している。 c: 勝敗を競う楽しさや喜びを | |
| うとしている。 b: 生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c: 勝敗を競う楽しさや喜びを | - が発して、日玉的だ取り組む |
| b:生涯にわたって球技を豊か に実践するための自己の課 題に応じた運動の取り組み 方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを | |
| に実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを | |
| 題に応じた運動の取り組み 方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを | |
| 方を工夫している。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを | |
| c: 勝敗を競う楽しさや喜びを | |
| | |
| THE TENT OF THE TE | |
| | |
| 技能や仲間と連携した動き | |
| を高めてゲームが展開を展 | |
| 開できるようにしている。 | |
| d:技術や技の名称や行い方、体 | |
| 力の高め方、運動観察の方法 | |
| *** | - - - - - - - - - - |
| | |
| | |
| 7 - C. | |
| ライフスタイルとスポーツ えを発表するなどの活動を レポート | 77 7 W 77 1 4 1 W 1 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
| 通して、学習に自主的に取り テスト 組もうとしている。 | |
| | |
| や現代のスポーツの特徴につ | |
| いて、必要な情報を比較したり | |
| | |
| 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | |
| | |
| や現代のスポーツの特徴につ | |
| いて、言ったり書きだしたりし | |
| ている。 | |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:運動の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元) の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付 けている。